

平成28年度 健康増進計画 目標事業評価調書(案)

健康福祉部 健康推進課

【調書の進捗状況及び次年度方針の見方】

【評価】

5	施策目標の80%～100%達成
4	施策目標の60%～80%達成
3	施策目標の40%～60%達成
2	施策目標の20%～40%達成
1	施策目標の0%～20%達成

【進捗状況】

A	計画どおり実施済み
B	計画の50～100%未満の実施
C	計画の1～50%未満の実施
D	未実施

【次年度方針】

新規	新規事業の実施
継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

基本 目標	基本 施策	基本目標	施策目標	取組・方針
子どもから高齢者まで健康でこころ豊かにすごせるまち				
		1. 健康寿命の延伸、生活の質の向上、地域健康づくりの推進		
		元気に長生き (健康寿命の延伸)	(1) 栄養・食生活	・朝食を毎日食べるなど、食事のバランスを考えて食べられるように支援する。 ・「食育」に関する知識を普及する。 ・こどもの頃からの正しい食習慣づくりを促す。 ・地域住民と連携し、地元産食材を活用した食育を推進する。
			(2) 身体活動・運動	・健康推進課の事業を通して、運動習慣の動機付けや継続を支援する。 ・健康増進室については、市民が利用しやすい環境づくりに努める。 ・市民が気軽に参加できる、運動教室やイベントの開催と周知に努める。
			(3) 休養・心の健康づくり	・睡眠・休養・心の健康についての知識の普及 ・こころの健康づくりに関しての相談体制の充実 ・地域健康づくり活動を通して、地域住民同士の交流を促進する。 ・うつ病に関する知識の普及啓発と早期対応のための環境づくりに努める。 ・自殺予防について関係機関と連携し、普及啓発や相談体制の整備に努める。
			(4) たばこ	・未成年・妊婦等の若年者、家族等の幅広い対象に対する知識の普及啓発 ・公共の場での禁煙や分煙を推進する。 ・禁煙希望者への支援体制づくりを推進する。
		自分らしく生きる (生活の質の向上)	(5) アルコール	・大量飲酒の健康への影響に関する知識の普及啓発や、適量飲酒、休肝日を設けるようアピールする。 ・アルコールの問題に対する相談機関の紹介 ・未成年・妊婦等の若年者に対する知識の普及啓発
			(6) 歯の健康	・むし歯や歯周病に関する知識の普及啓発 ・歯及び口腔の健康づくりが実践できるように支援する。 ・定期的に歯科健診を受けるように、働きかけを進める。 ・かかりつけ歯科医を持つための情報の提供

基本 目標	基本 施策	基本目標	施策目標	取組・方針
子どもから高齢者まで健康でこころ豊かにすごせるまち				
1. 健康寿命の延伸、生活の質の向上、地域健康づくりの推進				
	地域が一体となってつくる健康 (地域健康づくりの推進)		(7) 糖尿病・メタボリックシンドローム	- 生活習慣病についての知識の普及啓発を図る。 - 特定健診、特定保健指導の周知を図る。 - 生活習慣改善への取り組みを支援する。
			(8) 循環器疾患	- 市民健診、健康診断、特定健診の受診を促す。 - 生活習慣病の予防についての正しい知識の普及に努めるとともに、市民が継続して自己管理ができるよう支援する。 - 北多摩北部医療圏の脳卒中医療連携事業の下、関係機関と連携して脳卒中対策を進める。
			(9) がんの予防	- がん検診の意義や有効性について、普及啓発を図る。 - がん検診の受診率の向上を図る。 - 検診フォローの充実 - がん予防のための生活習慣の啓発 - 乳がん予防の普及啓発

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
一元 気 に 長 な っ て き （ 健 康 寿 命 の 延 伸 ） ・ 自 分 ら の し く 推 進 ） ・ 生 活 の 質 の 向 上 ） ・ 地 域 が	（ 1 ） 栄 養 ・ 食 生 活	4	朝食を毎日食べるなど、食事のバランスを考 えて食べられるように支援する。	・乳幼児については、健診や各種教室（離乳食・ 幼児食教室、両親学級、むし歯予防教室）等で食 育や正しい食習慣づくりを啓発。食育出前講座で は、食事バランス・野菜を取り入れた食事・食生活 習慣について講話・相談等の支援を行った。28年 度は私立幼稚園からの要請により幼稚園2か所 と、児童センターにおいても実施。子ども向けには エプロンシアターやクイズ形式で食べ物の栄養に ついて、保護者向けには食事バランスや朝食の 摂取について等健康教育した。 3か所 149人 ・作成したレシピ集「かんたん！おすすめレシピ」 をもとに、各関係機関で朝食の欠食率を下げるよ う支援啓発し、内容の更新も行った。	A	・各事業を継続して実施する。 ・関係機関で食育や正しい食習慣づくりの啓 発を行う。	継続
			「食育」に関する知識を普及する。	成人・高齢者に関しては、生活習慣病等の教 室や出前講座を通して、バランスのとれた食 事的重要性や食育について支援した。	B	・成人、高齢者に対する生活習慣病予防等の 講座内容の充実を図り、出前講座も実施す る。	継続
			こどもの頃からの正しい食習慣づくりを促す。	・「かんたん！おすすめレシピ」Vol.4を作成 し、食育展等の行事や健康センター、本庁で 配布した。また、各所で活用して食習慣づくり の普及啓発を行った。 ・「かんたん！おすすめレシピ」のホームペー ジに、定期的に新メニューを掲載し、普及啓 発を行った。 ・学校、保育園、幼稚園の担当栄養士による 食育に関しての情報交換会を定期的に開催 し、連携を図った。	B	・これまで集まったレシピの中から、季節の旬 な野菜を取り入れたメニューをホームページ や各所の定期的なお便り等に掲載して紹介 し、食習慣づくりの普及啓発を行う。 ・食育に関しての定期的な情報交換会を引き 続き開催し、連携を図る。	継続
			地域住民と連携し、地元産食材を活用した食 育を推進する。	・11月に「農業まつり」と同時開催で農家の協力を 得て「きよせ食育展」を実施し、食育の普及啓発を 行った。（「きよせ食育展」とは、学校給食を活用し た食育の普及啓発を目的とした「学校給食展」と 保育園の「食育展示」、健康推進課、産業振興課 の「食育展示」を合わせたイベントのこと。） 28年度は、1日に必要な野菜の量を測る体験コー ナーも設けた。 ・市民まつりの同日開催の健康イベントでも、この 体験コーナーを設け、広く市民に周知した。	A	・「きよせ食育展」を継続して実施し、食育の 普及啓発を行う。	継続

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
な元 っ気 てに っ長 く生 るき 健へ 健康 （健康 地域 健康の 健康延 び伸 びく） ・自 分推 進） ・生 きる （生活 の質の 向上） ・地 域が 一体と	（2） 身体 活動 ・運動	4	健康推進課の事業を通して、運動習慣の動機付けや継続を支援する。	・健康大学の実技コースとして、生活習慣病予防のための運動教室を実施した。 リフレッシュ・ヨガ、シェイプアップ教室、腰痛・膝痛予防教室等8回実施、延170人参加。 ・「きらきらママの元気を応援講座」等でヨガを実施した。2回実施、31人参加。 ・特定保健指導の一環として、運動教室、運動指導を実施した。 H28年度 計47回実施、延1,729人参加。 ・健幸ポイント事業を実施し、健康づくりに無関心な年齢層の方の掘り起こしを行った。 ・また、データ登録会を開催し、同時開催で運動教室等も実施し、継続を支援した。 データ登録会 34回実施 延658人参加。	B	・健康大学の実技コースや各健康教室、講座、保健指導で、運動教室や運動指導を実施する。 ・健幸ポイント事業を継続実施。 ・「きらきらママの元気を応援講座」で、健康運動指導士による体操と運動習慣に関する講座を実施する。また、ヨガも引き続き実施。 更に、骨密度測定を新たに実施することで、より運動習慣の必要性を理解してもらう。	充実
			健康増進室については、市民が利用しやすい環境づくりに努める。	・健康増進室では、各年齢及び体力に合った運動プログラムにより、指導を行った。 ・健康増進室に体組成計を設置し、健康づくりへの関心を高めた。 ・28年度は健幸ポイント事業の影響もあり、新規利用者が増加傾向であった。 健康増進室利用者数※（ ）内はH27年度 H28年度 17,752人(16,989人) H28 H27 H26 新規利用者 385人 314人 254人	A	・健康増進室での各年齢、体力に合った運動プログラムによる指導を継続実施。	継続
			市民が気軽に参加できる、運動教室やイベントの開催と周知に努める。	・骨粗しょう症予防教室では、30～40歳代の若い年代に多く参加してもらうよう、乳幼児健診・両親学級・栄養・歯科事業等で受診勧奨を行い、また、親子歯科健診事業と併設して実施する等工夫した。3回実施、延231人参加。 （40歳未満13人、40～64歳 66人、65歳以上152人、計231人受診） ・地域での出前講座では、ロコモティブシンドローム予防について健康教育、足指筋力測定等を実施した。 28回 延524人参加。	B	・骨粗しょう症予防教室では、30～40歳代の若い年代に多く参加してもらうよう、今後も周知方法を工夫する。 ・骨粗しょう症予防のため地域での出前講座も継続して行う。 ・市民まつり同日開催の“健康イベント”を実施し、ロコモティブシンドローム予防を目的とした足指筋力測定を実施することで、多くの幅広い世代の市民に運動習慣の重要性を認識してもらう。 ・「腰痛膝痛予防教室」を、“ロコモティブシンドローム”を普及するために「ロコモ予防教室」へ名称変更し、更にロコモ予防を目的とした内容を充実させて実施予定。	充実

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
地 元 域 気 が に 一 長 体 生 と き な へ っ て 健 康 つ つ く る 命 の 健 延 康 伸 （ 地 域 自 分 健 康 づ く り 生 ぎ る へ 生 活 の 質 の 向 上 ） ・	（ 3 ） 休 養 ・ 心 の 健 康 づ く り	4	睡眠・休養・心の健康についての知識の普及	・健康大学、地域健康づくり支援事業等で講話、パンフレット・リーフレット等を配布し、また、健康大学で、“うつ病における栄養の驚くべき役割”というテーマで講演を実施して、知識の普及啓発に努めた。113人参加。 ・自殺予防対策庁内連絡会を実施し、職員の知識の向上及び協力・連携を図った。30人参加。	B	・健康大学等で心の健康についての内容等の講座を実施する。 ・自殺予防対策庁内連絡会を引き続き実施し、庁内職員の協力・連携を図る。	継続
			こころの健康づくりに関しての相談体制の充実	・成人健康相談、精神保健福祉相談等で相談に対応した。必要に応じて、医療機関の情報提供や関係機関を紹介した。 ・10月に自殺予防対策庁内連絡会を昨年度に引き続き開催し、2月には、庁内の職員や民生児童委員、健康づくり推進員等を対象にゲートキーパー研修を行った。市職員32人、民生児童委員14人、健康づくり推進員9人、計55人参加。	B	・成人健康相談、精神保健福祉相談等の充実。 ・自殺予防対策庁内連絡会、ゲートキーパー研修を継続して行う。 ・自殺予防対策の計画策定のため、情報収集を行う。	充実
			地域健康づくり活動を通して、地域住民同士の交流を促進する。	・地域健康づくり支援活動で、地域住民の社会参加を促すとともに、住民同士が交流できるよう支援した。154回、延3,248人参加。	B	・引き続き地域健康づくり支援事業を実施し、地域交流の充実を図る。	継続
			うつ病に関する知識の普及啓発と早期対応のための環境づくりに努める。	・健康大学、健康イベント、地域健康づくり支援事業等での講話やパンフレット・リーフレット等を配布して知識の普及に努めた。28年度は、健康大学で、“うつ病における栄養の驚くべき役割”の講義を実施し、うつ病についての知識の普及啓発に努めた。（再掲）	B	・健康大学・地域健康づくり支援事業等で、うつ病に関する知識の普及啓発を行う。	継続

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
元 つ く る 長 健 生 き (地 域 健 康 寿 命 づ の く 延 り の 推 進) 自 分 ら し く 生 き る (生 活 の 質 の 向 上) ・ 地 域 が 一 体 と な っ	(3) 休 養 ・ 心 の 健 康 づ くり	4	自殺予防について関係機関と連携し、普及啓発や相談体制の整備に努める。	・庁内職員をはじめ、民生・児童委員、健康づくり推進員にも対象を広げて、ゲートキーパー研修を実施し、人材育成に努めた(再掲)。 ・健康センターと市内2か所の図書館に自殺予防コーナーを設け、清瀬市の自殺の状況や自殺予防のパネルを掲示。また、各種教室、地域健康づくり支援事業、健(検)診等で自殺予防リーフレットを配布する等、啓発に努めた。 ・3月、9月に東京都が開設する若者と成人向け相談会・講演会のPRをした。	B	・関係機関へのゲートキーパー研修等の実施 ・関係機関と連携した自殺予防対策を普及啓発する。	継続
	(4) た ば こ	4	未成年・妊婦等の若年者、家族等の幅広い対象に対する知識の普及啓発	・母子健康手帳交付時、両親学級・父親学級等でリーフレットを配布し、たばこの害に対する知識の情報提供に努めた。 ・親子歯みがき教室や他の歯科教室等で、喫煙が口腔内の健康に及ぼす影響についての知識を普及し、禁煙を勧めた。 ・健康大学講演会で、呼吸器疾患のテーマにCOPDを入れて知識の普及啓発を図った。 95人参加。 ・「きれいな肺を保つための講座」では、健康大学、両親学級、骨粗しょう症予防教室等で簡易な肺機能の検査を同時実施し、関心を高めた。 9回実施 延244人参加。 ・市内の小学校2校(芝小:5年生31人、保護者9人、教員2人、清小:6年生98人、保護者3人、教員5人)で計148人に対し、喫煙防止の健康教育を実施し、知識の普及啓発を図りました。 - また、1校(芝小)の保護者5人には、簡易な肺機能の検査(肺チェッカー)を実施し、受動喫煙による健康問題のリーフレットを配布し受動喫煙防止の啓発を行った。 ・特定健診、後期高齢者健診受診者に対して、COPDの知識の普及啓発、特に喫煙者には個別勧奨を通して、早期発見に努め、重症化予防を図った。 個別勧奨は、特定健診は1,072通、後期高齢者健診は667通発送した。	B	・各事業を継続実施し、たばこの害に対する情報提供を行う。 ・児童、生徒等の若者を対象にした禁煙教育を実施する。 ・COPDの知識の普及啓発及び重症化予防を行う。 ・「きれいな肺を保つための講座」を継続して実施し、簡易な肺機能の検査を通してたばこの害についての関心を高める。 ・特定健診受診者に対して、COPDの知識の普及啓発、特に喫煙者に対する個別勧奨を通して、早期発見に努め、重症化予防を図る。	充実

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
地 元 域 が 一 体 と な っ て （ 健 康 寿 命 の 延 伸 ） ・ 地 域 健 康 づ く り の 推 進 （ 生 活 の 質 の 向 上 ） ・	（ 4 ） た ば こ	4	公共の場での禁煙や分煙を推進する。	・乳幼児健康診査、歯科健診の会場に“保護者等の喫煙が乳幼児に与える影響”、“分煙の方法”について等パネルで掲示し、禁煙や分煙の啓発に努めた。 ・特定保健指導の中で禁煙教室を2回実施した(参加者3人)。	B	・引き続き、普及啓発、相談体制の充実を図る。	継続
			禁煙希望者への支援体制づくりを推進する。	・禁煙教室を2回実施し、禁煙成功者に体験談を話してもらったり、禁煙外来を紹介した。 ・特定保健指導の中で喫煙者に禁煙を促した。	B	・引き続き、禁煙支援を行う。	継続
	（ 5 ） ア ル コ ー ル	3	大量飲酒の健康への影響に関する知識の普及啓発や、適量飲酒、休肝日を設けるようアピールする。	・特定保健指導、各種地域健康づくり支援事業等で知識の普及啓発に努めた。	B	・特定保健指導、各種地域健康づくり支援事業等で知識の普及啓発を継続して行う。	充実
			アルコールの問題に対する相談機関の紹介	・アルコール問題は相談機関を紹介した。	B	・アルコール問題は相談機関を紹介。普及啓発、相談体制の充実を図る。	充実
			未成年・妊婦等の若年者に対する知識の普及啓発	・母子健康手帳交付時に、リーフレットを配布し、飲酒が胎児に与える影響について啓発した。 ・乳幼児健診会場に、授乳中の飲酒や乳幼児に与える影響についてパネル展示し、禁酒について啓発を行った。 ・飲酒が胎児や授乳中の乳幼児に与える影響について両親学級等でも普及啓発を行った。	B	・引き続き飲酒が胎児や授乳中の乳幼児に与える影響について両親学級等で普及啓発を行う。 ・中学校でセーフティ教室等で生徒、保護者に対しアルコールの健康教室を実施し、普及啓発を行う。	充実

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
体元 と気 な に 長 つ き く （ 健 康 寿 命 の 地 域 延 伸 健 康 ） ・ 自 分 ら し く 生 き る （ 生 活 の 質 の 向 上 ） ・ 地 域 が 一	（ 6 ） 歯 の 健 康	4	むし歯や歯周病に関する知識の普及啓発	- 健康大学で“健康な生活と口の関係”というテーマで、口腔保健についての講演会を実施した。 77人参加。 - 子育てサークル等に出向き、歯、口腔の健康に関する知識の普及啓発に努めた。 1回13人参加。	B	・事業を通し、噛む機能を含めた歯、口腔の健康に関する知識の普及啓発に努める。	継続
			歯及び口腔の健康づくりが実践できるように支援する。	1歳未満の乳児期、1歳以上の幼児期、就学前に教室、健診等を通し、健康学習を実施した。 - 親子歯科健診65回 子:延1,409人 親:延1,264人 - 親子歯みがき教室、卒業教室、5,6歳児予防教室、プレママ教室等 26回 延307人 - 妊婦歯科健診 59回 延55人 - 乳幼児歯科予防処置 65回 延535人	B	・引き続き健診等を通じて健康学習を実施する。	継続
			定期的に歯科健診を受けるように、働きかけを進める。	- 成人歯科保健事業(親子歯みがき教室・親子歯科健診)を実施し、噛む機能を含めた歯、口腔の健康に関する知識の普及や啓発に努めた。 - 成人歯科健診事業では、対象者を拡大(30・35・40・45・50・55・60・65・70)して実施し、受診者数は858名、10.2%の受診率であった。(H27は388名、10.61%)	B	- 成人歯科保健事業(親子歯みがき教室・親子歯科健診)を引き続き実施し、噛む機能を含めた歯、口腔の健康に関する知識の普及啓発に努める。 - 成人歯科健診の継続実施。	継続
			かかりつけ歯科医を持つための情報の提供。	・「協力歯科医院情報一覧」を作成配布し、情報提供を行った	B	・「協力歯科医院情報一覧」の内容を更新、作成配布し、情報提供に努める。	継続

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
地 域 気 に 一 体 生 き な い 健 康 な 生 活 の 推 進 （ 地 域 健 康 の 質 の 向 上 ）	（ 7 ） 糖 尿 病 ・ メ タ ボ リ ッ ク シ ン ド ロ ーム	4	生活習慣病についての知識の普及啓発を図る。	・市報、ホームページ、各種講演会や教室等で、生活習慣病予防の知識の普及啓発に努めた。 ・健康大学で、特定健診、30代の健診受診者のうち、尿検査の要指導域の方に対しては個別に勧奨通知を送付して参加を呼びかけ、CKD（慢性腎臓病）についての講演会を実施した。 104人参加。 ・「4つのステップで変える！健康習慣」のリーフレットを作成し、市内小学校の保護者、乳幼児健診受診者の保護者、次年度30歳・35歳になる市民等に配布し、生活習慣改善の取り組みについて普及啓発を行った。	B	・市報、出前講座、講演会等の機会を活用して普及啓発を行う。 ・地域組織を活用した受診勧奨及び予防啓発活動の強化を図る。 ・「4つのステップで変える！健康習慣」のリーフレットを引き続き作成し、普及啓発を行う。	継続
			特定健診、特定保健指導の周知を図る。	・特定健診の継続受診勧奨及び未受診者健診を実施し、受診率向上に努めた。 継続未受診者305人にアンケート送付し、返送は13通であった。 - また、医療機関による日曜健診を4回と、健康センターでの集団健診1回を実施。未受診者への個別通知6,375通、受診者は440人。 ・特定保健指導においては、個別性の高い支援プログラム等を提供した。 ・受診勧奨、及び相談会を実施し、重症化予防に努めた。 ・30代健診受診者に、特定保健指導を実施した。		・未受診者及び継続受診勧奨を実施する。 ・特定保健指導対象者は、健診受診医療機関にて直接利用勧奨を実施する。また、個別通知や電話にて再勧奨を実施する。 ・健診結果にて要医療域の者に対して、受診勧奨及び相談会を実施し、重症化予防に努める。 ・30代健診受診者に早期介入保健指導事業を実施する。	

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
の質元 推の気 進進向 向上に （）長 生（生 き（地 域（健 康一寿 体命の とな延 って伸 ）・自 分ら しく 健康 （地 域健 康づ く活 の	（7） 糖 尿 病 ・ メ タ ボ リ ッ ク シ ン ド ロ ーム	4	生活習慣改善への取り組みを支援する。	・生活習慣病予防教室、特定保健指導などを通して集団及び個人への取り組み支援を図った。 ・生活習慣病予防事業（循環器疾患予防教室）として栄養教室、足指筋力測定や市民まつり同時開催の健康イベントでの肺年齢・体組成の測定、を通して市民の健康づくりへの関心を高め、個別支援を行った。 - ヘルシー食材のランチ1回 19人参加。 - 足指筋力測定 1回 35人参加。 - 健康イベント 1回 79人参加。 ・30歳代市民が参加しやすい健康教室を実施し、若年層の方へ、生活習慣改善の大切さを普及啓発した。 ・生活習慣改善推進のための「きらきらママの元気を応援講座」を、1コース3か月間で3日で1クールとして、期間を短縮し、取り組みやすいようにして支援した。 2コース実施 延94人参加。	B	・生活習慣病予防教室、特定保健指導などを通して集団及び個人への支援を図る。 ・若い世代からの生活習慣改善の大切さを引き続き普及啓発する。 ・「きらきらママの元気を応援講座」の内容を充実させて実施し、生活習慣の改善の予防行動を促し、また取り組みを支援する。	充実

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
元 な っ て に つ く る 生 き （ 健 康 （ 地 域 健 康 の 延 び の 推 進 ） ・ 自 分 ら し く 生 き る （ 生 活 の 質 の 向 上 ） ・ 地 域 が 一 体 と	（ 8 ） 循 環 器 疾 患	4	・市民健診、健康診断、特定健診の受診を促す。	・各種健康相談を実施。必要に応じて医療情報の提供や関係機関を紹介。 ・「4つのステップで変える！健康習慣」のリーフレット(栄養・運動編)を作成し、生活習慣と循環器疾患の関連や、健康診査の受診勧奨に努めた。 ・特定健診、30～39歳及び75歳以上等の健診の受診率向上をめざし、市報、ホームページ、市内関係機関及び医療機関等にてポスターやパンフレット等で周知した。対象者には個別通知を送付し受診勧奨を図り、特定健診は通常の健診終了後、未受診者健診を実施した。 実施状況 ※()内はH27年度 特定健診:7,200人(7,558人) 受診率53.2% (53.5%) (H28年度計画目標数値 58.5%) ※受診者数・率は現時点の見込み数 30～39歳の市民健診:681人(642人) 40歳以上の生活保護受給者の健診290人(293人) 後期高齢者医療健診:5,864人(5,639人) ・各健診の要フォロー者には、リーフレットの配布や各種教室の案内文を送付した。	B	・相談会を実施し、必要に応じて医療へつなげ、重症化予防に努める。 ・今後も各種健診の受診者の増加に努める。 ・引き続き特定健診等の受診率(新規及び継続受診率)の向上を図る。	充実
			・生活習慣病の予防についての正しい知識の普及に努めるとともに、市民が継続して自己管理ができるよう支援する。	・健康大学、生活習慣病予防教室、各種教室、地域健康づくり支援事業等を通して、生活習慣病予防の知識の普及に努めた。 ・生活習慣病予防事業として栄養教室、足指筋力測定や市民まつり同時開催の健康イベントでの肺年齢・体組成の測定、を通して市民の健康づくりへの関心を高め、個別支援を行った(再掲)。 ・市報、出前講座、講演会、各種教室、地域健康づくり支援活動等の機会を活用して、生活習慣病予防の普及啓発を進めるとともに、各種健診の受診勧奨を行った。	B	・引き続き市報、出前講座、講演会等の機会を活用して生活習慣病予防の普及啓発を進め、各種健診の受診勧奨に努める。 ・各種健康相談を実施し、必要に応じて医療に関しての情報提供を行う。	継続
			・北多摩北部医療圏の脳卒中医療連携事業の下、関係機関と連携して脳卒中对策を進める。	・北多摩北部保健医療圏脳卒中ネットワーク委員会での情報交換等を通して、関係機関との連携を図った。また、公的機関や関係機関のリーフレットを配布し、知識の普及啓発に努めた。	B	・脳卒中ネットワーク委員会への参加。 ・公的機関や関係機関のリーフレットを配布し、知識の普及啓発に努める。	継続

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
体元 とな って 長 て 生 つ き く （ 健 康 寿 命 の 地 域 延 伸 健 康 ） ・ 自 分 の 推 進 ） 生 き る （ 生 活 の 質 の 向 上 ） ・ 地 域 が	（ 9 ） が ん の 予 防	4	・がん検診の意義や有効性について、普及啓 発を図る。	・各種健康教室・地域健康づくり支援事業、公的 機関や関係機関の窓口等で受診勧奨のチラシを 配布した。 ・平成28年度も、60歳以上の方のがん検診の自 己負担を無料とし、受診行動につながりやすいよ うにした。	B	・受診勧奨対策を進める。 ・子宮頸がん、乳がん、肺がん検診の実施期 間について検討する。	継続
			がん検診の受診率の向上を図る。	・がん検診等カレンダーの全戸配布を行っ た。 ・がん検診推進事業にて乳がん・子宮頸が ん・大腸がん検診の無料クーポン券を配布。 ・クーポン券事業（がん検診推進事業）の受診 効果を検証し、積極的な個別勧奨と受診啓 発を行った。 ・年度途中で、子宮がん。乳がんクーポン配 布対象者で未受診の方へ受診勧奨ハガキを 配布し、受診率向上を目指した。 ・肺がん検診の回数を増加し、受診率向上を 図った。 ・乳がん検診、子宮頸がん検診の実施期間を そろえることで申込をしやすくし、受診率向上 を図った。 ・各種がん検診H28年度受診状況 ※（ ）内はH27、 26年度 胃： 1,145人(1,006人 1,041人) 大腸： 2,012人(2,156人 2,157人) 肺： 597人 (563人 476人) 子宮： 1,118人(1,200人 1,505人) 乳房：1,342人(1,603人 1,615人) 前立腺：3,614人(3,690人 3,489人)	B	・がん検診推進事業である、子宮がん(20歳)、 乳がん(40歳)のクーポン券を配布する。 ・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮が んの各検診において、検診を受けることが効 果的であると見込まれる年代に、個別勧奨を 実施。 (案)子宮がん:27,29,31歳 他の検診:42,44,46,52,54,56歳 ・各種がん検診の回数、時期等を検討し、受 診率向上を目指す。	改善
			検診フォローの充実	・要精検者への受診勧奨と検診後のフォロー に努めた。	B	・要精検者への受診勧奨と検診後のフォロー に努める。	継続
			がん予防のための生活習慣の啓発	・地域健康づくり支援事業、特定保健指導、 健康大学等でがん検診受診率の向上とがん 予防のための生活習慣改善の啓発を行っ た。	B	・健康教室、地域健康づくり支援事業、特定 保健指導等でがん検診受診率の向上とがん 予防のための生活習慣の啓発を継続して実 施する。	継続

基本 目標	施策 目標	評価	取組・方針	平成28年度 事業成果	進捗 状況	平成29年度 事業概要	次年度 方 針
くき元 るる気 健へに 康生長 （生活 地域き 質の健 健康向 康上寿 づくり ）命の の地延 推域伸 進が） ）一・ 体自 とな らな って くつ 生	（9） が ん の 予 防	4	乳がん予防の普及啓発	・女性の健康づくりの一環として、骨粗しょう症予防教室、健康大学の実技コースの女性だけのヨガの時に乳がんの予防の普及啓発と検診の受診勧奨を行った。また、アイレックまつりにおいて、女性特有のがんについてポスター等を展示して普及啓発し、検診の周知に取り組んだ。市民まつりや地域の出前講座にてリーフレットを配布し、乳がん自己検診指導等、乳がんの予防の普及啓発と検診受診の周知を行った。4回実施、延68人参加。 ・3月の乳幼児健康診査に来所した保護者を対象にパンフレット「女性のための健康ガイド」を配布し、がん予防、検診受診等をはじめとした健康づくりについて普及啓発した。	B	・8月に乳がん検診の募集にあわせて、ピンクリボン運動を実施。	充実